



赤塚第一中学校 「未来を拓く～ひと・夢・チャレンジ～」

1年総合的な学習

～地域に学ぶ～

「地域に学ぶとは、赤塚に学ぶ・
人の生き方に学ぶということ」



2月16日の赤塚第1中学校、「食べ物はどこからー
フードマイレージを学ぶ」の授業風景

赤塚第一中学校では、総合的な学習の時間の取り組みは、教育の重点目標として、1年生は「地域に学ぶ」2年生は「社会に学ぶ」3年生は「日本に学ぶ」と設定しています。

この取組が実にユニークで地域の人々とのつながりも深く、環境学習活動に関わる内容も多かったため、新年度に入って 宮城正校長先生・長濱裕也副校長先生、総合担当の新井博幸先生に改めてお話を伺いに出かけました。

まず、今春、1年生の「地域に学ぶ」の講師として、SOEも、エコポリスセンターと協働し、「食べ物はどこからーフードマイレージを学ぶ」の授業を行った時の生徒の感想です。

「この学習を学んで驚いたことがあります。6秒に一人が飢餓で死んでいる人が分かったことです。次に日本の食料自給率が40%だけだからです。この分60%が外国から輸入していることになる。だから運ぶのに燃料を使いそれだけ二酸化炭素を出していることにびっくりしました。」

1年 川野 雄大さん

「僕はフードマイレージなど全く知らなかったし興味もありませんでした。しかし、今回の授業で意味もわかったし興味もとても湧きました。クイズが楽しかったです。食料のある国ない国の説明もとてもよくすぐわかりやすかったです。」

1年 風間 大輔さん

「地図作りではどこから何が多く輸入されているか、国が飢えに苦しんでいる国からも輸入していることが分かりました。私は今回の授業を通して今まで気にしていなかった国内産か輸入品か、などを気にして買おうと思いました。多くの人にフードマイレージを知ってほしいです。」

1年 木村 美桜さん

「僕たちが食べるおかし、ご飯を世界の人々は同じように食べていると思っていた。少しでも好き嫌いせず我慢すると二酸化炭素も減り、命を落とす子どもも減ると思うのでこれから気を使っていく。」

1年 鈴木 勉さん

「地域に学ぶとは、赤塚に学ぶ・人の生き方に学ぶということです。たくさんのクラスがありますが、学級を越えて9つのテーマに分かれ、地域のたくさんの方々から学びました。転勤してきて、この地域との学びの組織の歴史を感じました。」総合担当の新井博幸先生の言葉です。9つのテーマとは以下の様です。



「この『地域に学ぶ』の授業では、子どもたちの表情がよかった。いつもはとかく一方通行になりがちな授業ですが、机上の学習でないものがあつたからです。」こまめに、各教室を見て歩かれた宮城校長先生のお話が続きます。「興味を持ってより深く、より発展的な学びにつながっていった嬉しいです。」



フードマイレージを学ぶ子どもたちに話しかける宮城校長先生

「心の教育は大切と言いながら、心の教育の分野の授業が大きく減っています。今の人類の負の遺産を子ども達に残してしまっているのを申し訳ないという気持ちで取り組んでいます。学力向上が国語・数学といった教科に偏ってきたように思う。ゆとりと充実の解釈が違ってしまったのではないか。」「生活の最も基礎となる条件、特に『食事』が大事。」「総合的な学習で取り組む価値が大きいです。『食べ物はどこから』の授業（SOEの授業）は自給できない食料などを考えるので、環境から見た食育は、とても大切です。」「地域の人達は、常に子どもの様子を注視しています。子どもたちを学校がしっかり育てていれば間違いがないと思っています。」溢れる言葉には、子どもたちへ伝えていきたい思いがほとばしっておりました。



宮城校長先生(右) 長濱副校長先生(左)

「子供たちは可能性を秘めている感じがします。どの地域でもあつるように、甘えている感じもありますが、反面、桜祭りでは自分がやるべきこと、責任をしっかり把握していて、ひっぱり力を持っています。地域が、生徒が頑張つて活動できるように場を提供してくれているので、それに応えて送り出す学校と担当者の努力も大きいですね。」転勤してこられたばかりの長濱副校長先生の温かい眼差しが印象的でした。

《4月4日に徳丸祭りがあつた。茶道部・吹奏楽部・演劇部が参加。生徒たち一人一人が役割に責任を持ち立派に活動している姿に感動した。一校長の言葉》

まれにみるアカガシラサギを発見した 夏鳥を見る会—盛会でした!!

～センスオブアース・板橋野鳥クラブ・エコポリスセンター共催～



.....
—学会大学大学院 伊藤宗彦さん

5月5日、子供の日に秋ヶ瀬公園にて野鳥観察会「夏鳥を見る会」が行われました。参加者はセンスオブアース、板橋野鳥の会の方など約40名でした。数日前まで天気がぐずついていたのですが、当日は天気恵まれ初夏のような暑さでした。観察会が始まってすぐに、草原の遙か向こうに点のようなコチドリ姿が目に入りました。野鳥の会の方の望遠鏡を覗かしていただくと餌をついばんだり、動き回っていたりと可愛らしい仕草を見ることが出来ました。散策をしながらシジュウカラの鳴き声はお化け屋敷の戸を開くような「ギー」であるなど詳しい方からいろいろ教えていただきました。他にもウグイス、シジュウカラ、コゲラ、コチドリ、セッカ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、モズ、キビタキ、カルガモ、アオサギ、シラサギなど様々な鳥に出会うことが出来ました。道を歩いていると、木の幹からしっぽの様なものがちょこちょこ動いているのが目に入り、近づいていくとカナヘビがそそくさと逃げていったり、池の横を歩いているときにどこからともなくシュレーゲルアオガエルの鳴き声が聞こえたりと他の生き物にも出会えました。観察会の終わりに皆で昼食を取っているとアカガシラサギが田んぼにいるということで、走って土手まで行きました。サギは白いものと思っていましたが、首から上が赤褐色のサギでした。アオサギやシラサギに混じって餌を取っており、滅多にお目にかかれない珍しい鳥だそうなので、この鳥が見られただけでも来て良かったという話をしている人もいて、本当に珍しいすごいサギを見られたことが分かりました。夏鳥を見る会に参加し、充実した楽しい一日を過ごしました。また次回も参加したいと思います。



この日の案内役は、
板橋野鳥クラブの栗林会長（中央）



これが田んぼで餌を探っていたアカガシラサギ
赤、黒、白3色の彩りが美しい

公立小教師 小椋朋美さん

新緑が輝く木々の中を歩きながら、普段は気付かない、音や景色をたくさん感じることができました。活力をくれる太陽、休む場所を与えてくれる木陰、風、その中に住む生き物たち…

自然をたくさん感じることができたと同時に、たくさんの自然に感謝したい一日でした。生き物たちのエネルギーを感じた一日、帰りの電車の中で、明日再会する子ども達の顔を思い出しました（私は小学校の教員です）。「やる気に溢れ、キラキラしていた春。この子どもたちの成長もこれから！！。今日、五感を使って出会えた喜びや感謝の気持ちを、子どもと過ごす日常で感じられたらどんなに楽しい一日になるだろう。」私自身、もう少し心を開いて、子どもと共に充実した一日一日を過ごしていきたいと感じました。



日本女子大学 松田尚子さん

お天気に恵まれた5月5日、野鳥の観察会が始まりました。野鳥を観察することは初めてだったので、少し戸惑いながらのスタートとなりました。もっとも気づいた時には、夢中になって望遠鏡を覗く私がいまいましたが、木をコンコンとつつくコゲラの姿が今でも目に浮かびます。実際に体感・経験したことは自分の中にしっかりと入っていくのだなと思いました。野鳥を観察したことももちろんですが、参加した方と多くの交流を持てたことも、この日の大きな収穫だったと感じています。

人と話すことによって様々な考え・価値観に触れることが出来、視野が広がりました。余談ですが、翌日重度の筋肉痛に見舞われ、「運動しなくちゃいけないな」と強く感じた一日でもありました。様々な気づきがあった野鳥観察会。参加して良かったです。

● S.O.E. 活動報告 (2010年5月)

日	曜	内容
1	土	蓮根第二小校長取材
5	水	夏鳥の観察会秋が瀬公園
6	木	赤塚第一中校長取材
9	日	SOEニュース5月号発行
14	月	エコポリヤゴ救出作戦5名参加開始 (~ 15日)
23	日	環境教育プログラムワークショップ

● S.O.E. 活動予定 (2010年6月)

日	曜	内容
6	日	SOEニュース6月号発行
10	木	板橋区立三國小2年出張授業
20	日	SOE総会・NPO杉並環境ネットワーク浅岡三枝子氏講演
22	火	志村第四小5年出張授業
24	木	桜川小5年出張授業
28	月	桜川小2年出張授業

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生バンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo soe.jp url: www.npo-soe.jp